

キャラクター名
アリス・アプフェル

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ノイマン		ワークス	FHエージェントC	カヴァー	FHエージェントC
	オプション		年齢	性別		
覚醒	生誕	衝動	加虐		初期侵食率	32 %
出自	天涯孤独	経験	無限回廊		邂逅	欲望：居場所

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	0		1			1	行動値	12
感覚	0		1			1	(非装備時)	12
精神	4	1	0	5		10	戦闘移動	17
社会	4		0			4	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1	1	調達	1	
運転：			芸術：			知識：	2		情報：FH	6	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
【セットアップ】		0				
戦術		0				対象のR中メジャーD+5/6/7/8個、自身不可
		0				
【メジャー】		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ミスリーダー		1			装備中自身の行う感覚/社会攻撃へのリアクション値+1。

所持品	
思い出の一品	
コネ：要人への貸し	
コネ：情報屋	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス：複製体	P	N		
Dロイス：記憶探索者	P	N		
レオナ[WH]	P 慈愛	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
最大財産P:	10	残り財産P:	5	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
戦術	5	6	セット	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果： 対象のR中メジャーダイス+LV個。自身対象不可								
C：ノイマン	2	2	メジャー	-	-	症状	-	
効果： 組み合わせC値-LV(下限7)								
理知の城壁	★	1	メ/リ	-	-	交渉	-	
効果： 交渉を【精神】で代用								
虚構のナイフ	3	3	メジャー	-	-	【精神】	-	
効果： 攻撃力+[LV*3]								
絶対の恐怖	5	3	メジャー	視界	-	交渉	-	
効果： 攻撃力+LVの装甲無視射撃								
神の御言葉	5	4	メジャー	-	-	交渉	リミット	
効果： 攻撃力+[LV*5] シナリオ3回								
テンプテーション	5	2	メジャー	-	-	交渉	-	
効果： 達成値+[LV*2]								
領域調整	3	2	メ/リ	-	-	交渉	-	
効果： 判定ダイス+LV個								
戦闘嗅覚	3	4	メジャー	-	-	参照	80↑	
効果： 攻撃力+【精神】								
オーバードーズ	3	4	メ/リ	-	-	症状	100↑	
効果： 組み合わせエフェクトのLV+2 シナLV回								
キリングパフューム	★	4	メジャー	-	-	症状	100↑	
効果： 組み合わせ攻撃にはリアクション不可。シナリオ1回								
タブレット	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果： EF使用前に使用、射程を視界に変更。シナLV回								
多重生成	3	3	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果： 対象を[LV+1]体に変更する								

アリス：アリス・リデルあるいはアリス。前者は不思議の国のアリスのモチーフとなった少女、後者はアリスそのもの。

複製体UGN-No.2。研究テーマは「依存」。欠損を補う箇所の痛みすらも和らげる過剰な薬物生成。その果て無き依存の向こうには何があるだろうか？

彼女も不完全な複製であり耳となる器官がない。そのため後付けで獣の耳を接続している。頭部上端から直接脳に接続するのが一番安全と判断された。というのは建前。研究テーマに沿うよう過剰な痛みが出る箇所に接続されており、自身の能力で生成され続けている薬物でその痛みが和らいでいる。

彼女の次の個体であるNo.3がようやく完成体となり、無事に両親の元へと帰って行った。その後はNo.3と会わないようにUGNエージェントとして各地を巡っていた……というのは本人談。

AlterEgoの一件で姉妹たちの前に姿を見せ、UGNからFH、そしてFHからUGNへのダブルスパイ(もどき)だったことを明かす。現在はFHエージェント(スパイではない)。とあるセルの一員として活動中。愉快犯のような性質があるらしくたまに暴走する。

戦闘では快楽作用や幻覚作用を持つ薬物で精神を直接攻撃する。言葉による幻覚作用を加速させるトリガーとして扱っているためか、言葉で傷つけることを何とも思っていない節がある。(同時に空気を読むのも得意であるため仲間とみなした人物にそういった扱いはほとんどしないが。)

本来は快楽物質に特化したオーヴァードだが当の本人も薬物に依存しており、コンセントレイトは正式習得ではない。(快楽を限界まで上げ、逆に精神が集中するレベルまで服用して無理やりコンセントレイト効果を発揮している。)

